

# 市町村地方公営企業決算の概要

令和5年9月29日  
大分県総務部市町村振興課

1. 地方公営企業の状況、決算規模 . . . . .	1 P
2. 水道事業（上水道・簡易水道）の経営状況	2 P
3. 下水道事業の経営状況 . . . . .	4 P
4. 病院・その他事業の経営状況 . . . . .	6 P
5. 一般会計繰入金 . . . . .	7 P
6. 企業債現在高 . . . . .	8 P
7. まとめ . . . . .	9 P
8. 用語の解説 . . . . .	10 P



# 1 地方公営企業の状況、決算規模

## ◆地方公営企業の状況

地方公営企業は、住民の生活水準の確保、向上のために大きな役割を果たしており、特に上下水道事業はその多くが地方公営企業（市町村営）として行われている。

グラフ 1-1 地方公営企業が占める割合

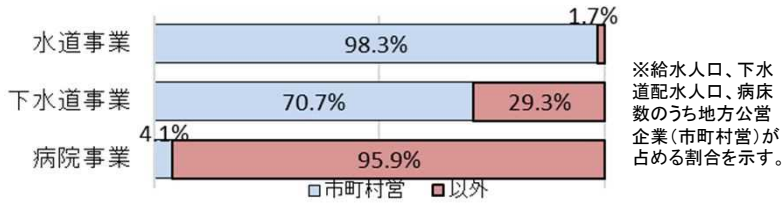


表 1-1 事業数の状況

事業名	R4	R3	増減
上水道	16	16	0
簡易水道	5	5	0
下水道	46	46	0
病院	4	4	0
工業用水道	2	2	0
交通	3	2	1
駐車場	1	1	0
観光	3	3	0
市場	3	3	0
電気	1	1	0
介護サービス	7	7	0
その他事業	1	1	0
合計	92	91	1

## ◆事業数の状況

### ・事業数は92事業で、令和3年度から1増加

津久見市が交通事業（船舶・保戸島航路）を民間事業者から引継ぎ、実施主体となったことにより、1事業増となった。

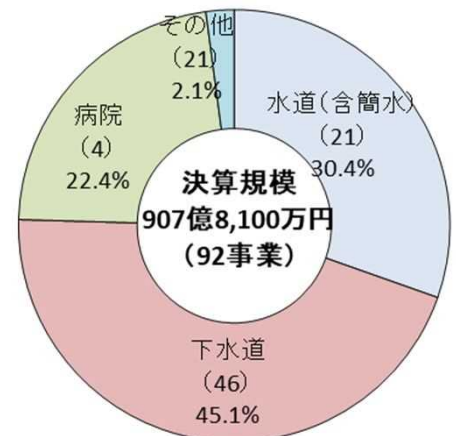
## ◆決算規模

### ・決算規模は907億8,100万円と前年度890億6,300万円から17億1,900万円の増

事業別決算規模は、下水道事業が409億1,000万円、水道事業（含簡易水道）が275億9,300万円、病院事業が203億6,500万円となっている。

事業別の増減については、下水道事業が宇佐市や臼杵市の終末処理施設整備等による建設改良費の増加などにより17億1,000万円の増、水道事業が中津市や大分市の浄水場施設整備等による建設改良費の増加などにより11億7,500万円の増、その他事業が姫島村の交通事業の船舶新造に伴う建設改良費の増加などにより5億2,000万円の増、病院事業が中津市民病院の奨学金返済支援のための基金積立の終了により16億8,600万円の減となっている。

グラフ 1-2 令和4年度事業別決算規模の状況



※事業名の( )書きの数字は、事業数を示す。

表 1-2 決算規模の状況

(単位：百万円)

団体名	水道(含簡易水道)			下水道			病院			その他			合計		
	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減
大分市	11,381	10,865	516	19,158	18,845	313				329	294	35	30,868	30,003	865
別府市	2,608	2,635	▲27	3,068	2,731	337				40	35	5	5,716	5,402	314
中津市	3,236	2,539	697	3,681	3,482	200	8,774	10,960	▲2,186	213	199	14	15,904	17,179	▲1,275
日田市	1,282	1,141	140	2,078	2,108	▲30				0	0	0	3,359	3,249	110
佐伯市	1,939	1,721	219	2,724	2,704	20				136	101	34	4,799	4,526	273
臼杵市	997	966	31	1,775	1,392	383				29	22	6	2,800	2,381	420
津久見市	527	524	3	658	534	124				92	0	92	1,277	1,058	219
竹田市	392	389	4	304	297	7				10	17	▲7	706	703	3
豊後高田市	292	276	16	914	906	8							1,206	1,183	24
杵築市	630	939	▲309	959	1,045	▲86	3,350	3,146	204	19	19	0	4,958	5,149	▲192
宇佐市	1,173	1,169	4	2,813	2,373	439				19	19	0	4,004	3,561	443
豊後大野市	727	717	10	284	292	▲8	3,962	3,807	155	78	86	▲8	5,052	4,902	149
由布市	976	953	23	89	88	1							1,065	1,040	25
国東市	549	557	▲8	1,492	1,731	▲239	4,279	4,137	142	22	34	▲12	6,341	6,459	▲118
姫島村	60	56	4	119	76	43				926	566	360	1,104	697	407
日出町	480	568	▲88	795	596	199							1,276	1,165	111
九重町	110	216	▲106	0	0	0							110	216	▲106
玖珠町	235	188	47	0	0	0							235	188	47
合計	27,593	26,418	1,175	40,910	39,200	1,710	20,365	22,051	▲1,686	1,913	1,393	520	90,781	89,063	1,719

※表示単位未満四捨五入のため、表内で一致しない場合がある(グラフについても同様)。

(注) 1 決算規模の算出は、次のとおりとした。

法適用企業：総費用(税込み)－減価償却費＋資本的支出  
 法非適用企業：総費用＋資本的支出＋積立金＋前年度繰上充用金

2 その他は、工業用水道、交通、駐車場、観光、市場、電気、介護サービス、その他事業を示す。

## 2 水道事業(上水道・簡易水道)の経営状況

### ◆収支の状況

- ・ 事業別収支全体では黒字を計上
- ・ 事業別では赤字は3減して1事業のみ

水道事業の収支額は、上水道事業全体で25億2,700万円、簡易水道事業全体で6,700万円の黒字となったが、事業別では、豊後大野市の上水道事業で赤字となった。

収支額から基準外繰入金を控除した収支状況では、上水道事業全体で20億3200万円の黒字となったが、大分市上水道事業の黒字額(15億8,100万円)が大きいことが要因であり、事業別では、16事業のうち5事業で赤字となった。また、規模や地理的条件等により経営環境が厳しい簡易水道事業全体では、2,800万円の黒字となったが、事業別では、5事業のうち3事業で赤字となった。

表 2-1 収支額の状況

(単位：百万円)

団体名	上水道			簡易水道		
	R4	R3	増減	R4	R3	増減
大分市	1,582	2,337	▲755	-	-	-
別府市	178	171	7	-	-	-
中津市	263	294	▲30	-	-	-
日田市	80	86	▲5	-	-	-
佐伯市	123	▲10	132	-	-	-
臼杵市	39	▲13	52	-	-	-
津久見市	35	45	▲10	0	0	0
竹田市	11	17	▲6	42	0	42
豊後高田市	14	19	▲5	-	-	-
杵築市	5	▲102	107	-	-	-
宇佐市	22	14	8	-	-	-
豊後大野市	▲46	▲37	▲9	-	-	-
由布市	96	75	21	-	-	-
国東市	4	5	▲1	-	-	-
姫島村	-	-	-	0	0	0
日出町	67	23	44	-	-	-
九重町	-	-	-	24	24	0
玖珠町	54	73	▲19	0	0	0
合計	2,527	2,996	▲469	67	25	42

※表示単位未満四捨五入のため、表内で一致しない場合がある。

(注) 1 法適用企業にあっては純損益、法非適用企業にあっては実質収支の金額を示す。(表2-1)

2 一般会計からの基準外繰入金を表2-1の収支額から差し引いた収支額を示す。(表2-2)

表 2-2 収支額から基準外繰入金(収益的収支分)を控除した収支状況

(単位：百万円)

団体名	上水道			簡易水道		
	R4	R3	増減	R4	R3	増減
大分市	1,581	2,317	▲736	-	-	-
別府市	178	171	7	-	-	-
中津市	237	250	▲13	-	-	-
日田市	▲46	▲22	▲24	-	-	-
佐伯市	122	▲10	133	-	-	-
臼杵市	▲1	▲18	16	-	-	-
津久見市	34	44	▲10	▲14	▲14	0
竹田市	11	17	▲6	38	▲6	43
豊後高田市	6	12	▲5	-	-	-
杵築市	▲69	▲183	114	-	-	-
宇佐市	13	4	9	-	-	-
豊後大野市	▲103	▲94	▲8	-	-	-
由布市	▲57	▲87	30	-	-	-
国東市	4	5	▲1	-	-	-
姫島村	-	-	-	▲11	▲6	▲5
日出町	67	23	44	-	-	-
九重町	-	-	-	24	24	0
玖珠町	54	73	▲19	▲8	▲8	0
合計	2,032	2,501	▲469	28	▲10	38

### ◆未処理欠損金の状況

- ・ 2事業で合計2億円の未処理欠損金を計上

杵築市では、令和2年度の収益を資本金に組み入れた影響により、未処理欠損金が増加した。

表 2-3 当年度未処理欠損金の状況

(単位：百万円)

事業名	団体名	R4	R3	増減
上水道	杵築市	▲96	▲78	▲18
	国東市	▲103	▲107	4
合計		▲200	▲185	▲14

※表示単位未満四捨五入のため、表内で一致しない場合がある。

## 2 水道事業(上水道・簡易水道)の経営状況

### ◆主な経営指標の状況

#### ・料金回収率は21事業中、14事業（上水道9、簡易水道5）で100%未満

料金回収率は、上水道事業で昨年度より1減の9事業、簡易水道事業では5事業全てで100%を下回っており、給水に係る費用を給水収益のみでは賄いきれていない事業が多数となっている。これらの事業においては、料金や給水原価などの水準について、安定的な事業運営が行える水準に見直すなど、経営のあり方を検証することが特に求められる。

#### ・上水道事業の水道料金（県平均単価）が全国平均を下回る

水道料金単価の水準は、上水道事業で12事業、簡易水道事業では1事業で全国平均を下回る状況となった。

表 2-4 料金回収率

(単位：%、ポイント)

団体名	上水道			簡易水道		
	R4	R3	増減	R4	R3	増減
大分市	110.3	128.0	▲14.5	—	—	—
別府市	102.3	99.7	2.7	—	—	—
中津市	112.7	115.7	▲1.9	—	—	—
日田市	86.0	87.5	0.6	—	—	—
佐伯市	94.4	83.3	10.0	—	—	—
臼杵市	81.6	93.2	▲9.9	—	—	—
津久見市	110.6	115.2	▲3.9	18.4	23.9	▲5.4
竹田市	107.3	111.9	▲4.1	52.2	58.4	▲6.2
豊後高田市	92.7	96.1	▲2.1	—	—	—
杵築市	79.2	83.0	▲3.2	—	—	—
宇佐市	69.5	80.0	▲8.8	—	—	—
豊後大野市	77.7	79.0	▲0.7	—	—	—
由布市	81.0	76.3	4.8	—	—	—
国東市	94.1	95.4	▲0.3	—	—	—
姫島村	—	—	—	67.0	69.0	▲2.0
日出町	112.7	103.8	8.1	—	—	—
九重町	—	—	—	90.8	87.3	3.5
玖珠町	144.1	165.1	▲11.4	22.7	25.7	▲3.0
合計	100.8	107.9	▲5.4	33.2	38.8	▲5.6

(注)1 料金回収率は、供給単価/給水原価×100とする。

(注)2 「合計」欄は加重平均である。

表 2-5 水道料金表

(単位：円)

順位	団体名	上水道	順位	団体名	簡易水道
1	中津市	3,755	1	津久見市	4,570
2	杵築市	3,710	2	姫島村	4,075
3	竹田市	3,465	3	玖珠町	4,070
4	国東市	3,410	県平均		3,904
全国平均		3,306	4	九重町	3,780
5	豊後大野市	3,200	全国平均		3,098
6	宇佐市	3,180	5	竹田市	3,025
7	日田市	3,160			
8	玖珠町	3,080			
県平均		3,071			
9	由布市	3,030			
10	臼杵市	2,990			
11	大分市	2,959			
12	別府市	2,924			
13	佐伯市	2,850			
14	津久見市	2,700			
15	豊後高田市	2,530			
16	日出町	2,195			

(注)1 1か月20㎡当たり  
(口径13mm)の料金とする。  
2 全国平均は  
上水：(公社)日本水道協会  
令和2年水道統計  
簡水：総務省平成30年6月資料

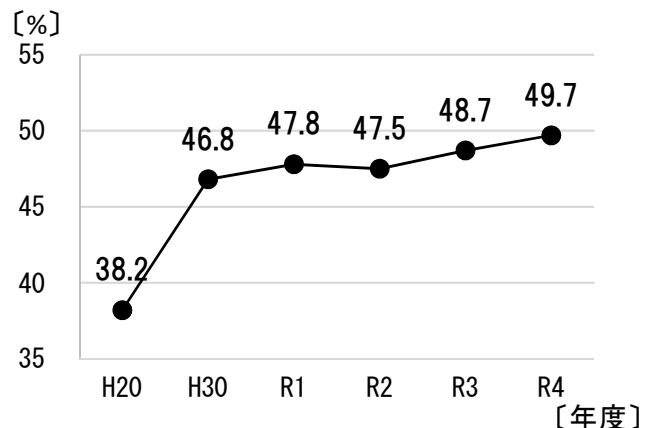
#### ・有形固定資産減価償却率が上昇

上水道事業における有形固定資産減価償却率は、年々施設の老朽化が進行している状況にあることから、今年度は前年度に比べ1.0ポイント上昇した。

施設の老朽化への対応は、放置すると将来的負担の増加につながるため、長期的な視点に立ち、施設や管渠の更新、長寿命化対策などを計画的に実施することが有効となる。

グラフ 2-1

有形固定資産減価償却率の推移(上水道事業のみ)



#### <有形固定資産減価償却率>

有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表し、資産の老朽化度合を示す。比率が高いほど資産の老朽化が進んでいる状態とされる。

(有形固定資産減価償却累計額/有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価×100)

# 3 下水道事業の経営状況

## ◆収支の状況

- ・ 下水道事業全体では赤字を計上
- ・ 事業別では46事業中9事業で赤字を計上し、基準外繰入金を控除すると42事業で赤字を計上

下水道事業全体の収支額は、2億6,700万円の赤字となったが、別府市の公共下水道事業の赤字(2億1,900万円)が主な要因であった。また、収支額から基準外繰入金を控除した収支状況では、全体で9億1,800万円の赤字となり、一般会計からの繰入金収入に依存した経営状態が継続している。

表 3-1 収支額の状況

(単位：百万円)

団体名	公共下水道			特定環境保全公共下水道			農業集落排水			漁業集落排水			小規模集落排水			特定地域生活排水			合 計		
	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減
大分市	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0
別府市	▲219	▲199	▲21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲219	▲199	▲21
中津市	▲107	115	▲223	▲1	2	▲3	17	17	0	-	-	-	▲0	0	▲0	-	-	-	▲91	134	▲226
日田市	3	3	0	1	1	0	1	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	0
佐伯市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臼杵市	5	61	▲56	4	▲8	11	▲9	▲31	22	0	2	▲2	-	-	-	1	0	0	1	24	▲24
津久見市	23	1	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	1	22
竹田市	-	-	-	-	-	-	13	0	13	-	-	-	-	-	-	0	0	0	14	0	13
豊後高田市	▲2	3	▲5	1	▲3	4	1	▲0	1	0	▲0	0	-	-	-	-	-	-	0	▲0	0
杵築市	0	3	▲2	0	0	▲0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	3	▲3
宇佐市	▲15	3	▲18	▲8	▲5	▲4	24	▲22	▲2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲48	▲24	▲24
豊後大野市	-	-	-	10	9	2	12	26	▲14	-	-	-	-	-	-	2	3	▲1	25	38	▲13
由布市	-	-	-	-	-	-	0	1	▲0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1	▲0
国東市	0	0	0	0	0	0	1	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	0
姫島村	-	-	-	0	0	▲0	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0
日出町	21	6	15	-	-	-	1	▲4	5	1	▲5	6	-	-	-	-	-	-	23	▲4	26
合 計	▲292	▲4	▲289	6	▲4	10	13	▲12	25	2	▲3	5	▲0	0	▲0	3	4	▲1	▲267	▲19	▲249

※表示単位未満四捨五入のため、表内で一致しない場合がある。

(注)1 法適用企業は純損益、法非適用企業は実質収支の金額を示す。 2 九重町と玖珠町は下水道事業を実施していないため、表示していない。

表 3-2 収支額から基準外繰入金(収益的収支分)を控除した収支の状況

(単位：百万円)

団体名	公共下水道			特定環境保全公共下水道			農業集落排水			漁業集落排水			小規模集落排水			特定地域生活排水			合 計		
	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減
大分市	▲25	▲27	2	-	-	-	▲32	▲29	▲3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲56	▲56	▲1
別府市	▲269	▲199	▲71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲269	▲199	▲71
中津市	▲139	▲23	▲115	▲31	▲15	▲16	▲0	2	▲2	-	-	-	▲0	0	▲0	-	-	-	▲169	▲36	▲133
日田市	2	2	▲0	▲10	▲6	▲4	▲13	▲17	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲21	▲20	▲1
佐伯市	▲3	▲4	1	▲24	▲25	2	▲36	▲28	▲9	▲55	▲43	▲12	▲3	▲2	▲1	▲10	▲8	▲2	▲131	▲109	▲22
臼杵市	▲30	21	▲51	▲14	▲13	▲1	▲10	▲31	21	▲0	0	▲1	-	-	-	▲1	▲1	▲0	▲55	▲23	▲31
津久見市	23	1	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	1	22
竹田市	-	-	-	-	-	-	▲5	▲15	9	-	-	-	-	-	-	▲4	▲5	1	▲10	▲20	10
豊後高田市	▲20	▲23	3	▲15	▲15	▲0	▲6	▲7	1	▲4	▲6	1	-	-	-	-	-	-	▲45	▲50	5
杵築市	▲6	▲10	4	▲1	▲1	▲0	▲24	▲28	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲32	▲40	8
宇佐市	▲15	▲4	▲11	▲8	▲5	▲4	▲24	▲22	▲2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲48	▲30	▲17
豊後大野市	-	-	-	▲2	▲6	4	▲15	1	▲16	-	-	-	-	-	-	▲13	▲9	▲4	▲30	▲15	▲15
由布市	-	-	-	-	-	-	▲11	▲9	▲2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲11	▲9	▲2
国東市	0	0	0	0	0	0	▲7	▲3	▲4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲7	▲3	▲4
姫島村	-	-	-	▲23	▲14	▲9	-	-	-	▲5	▲4	▲1	-	-	-	-	-	-	▲28	▲18	▲10
日出町	▲19	▲26	7	-	-	-	▲5	▲5	0	▲6	▲7	1	-	-	-	-	-	-	▲29	▲37	8
合 計	▲501	▲291	▲210	▲127	▲99	▲28	▲189	▲190	1	▲70	▲59	▲11	▲3	▲2	▲1	▲28	▲23	▲5	▲918	▲664	▲254

※表示単位未満四捨五入のため、表内で一致しない場合がある。

(注)1 一般会計からの基準外繰入金を表3-1の収支額から差し引いた収支額を示す。

2 九重町と玖珠町は下水道事業を実施していないため、表示していない。

## ◆未処理欠損金の状況

- ・ 下水道事業全体では12事業で34億6,600万円の未処理欠損金を計上

宇佐市の公共下水道では高資本費対策繰出金の終了により未処理欠損金を新たに計上

表 3-3 当年度未処理欠損金の状況

(単位：百万円)

団体名	公共下水道			特定環境保全公共下水道			農業集落排水			漁業集落排水			合 計		
	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減
大分市	▲2,006	▲2,006	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲2,006	▲2,006	0
別府市	▲663	▲444	▲219	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲663	▲444	▲219
日田市	-	-	-	▲1	▲2	1	-	-	-	-	-	-	▲1	▲2	1
佐伯市	▲586	▲586	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲586	▲586	0
臼杵市	-	-	-	▲5	▲8	4	▲82	▲73	▲9	-	-	-	▲87	▲81	▲5
豊後高田市	-	-	-	▲4	▲5	1	0	▲0	1	0	▲0	0	▲4	▲5	2
宇佐市	▲15	0	▲15	▲22	▲13	▲8	▲76	▲52	▲24	-	-	-	▲113	▲65	▲48
日出町	-	-	-	-	-	-	▲3	▲4	1	▲4	▲5	1	▲7	▲9	2
合 計	▲3,270	▲3,036	▲234	▲31	▲28	▲3	▲161	▲130	▲32	▲4	▲5	2	▲3,466	▲3,199	▲267

※表示単位未満四捨五入のため、表内で一致しない場合がある。

※R3またはR4において当年度未処理欠損金が発生した団体のみを記載し、欠損金が解消した場合は「0」、データなしの場合は「-」と表記している。



# 3 下水道事業の経営状況

## ◆主な経営指標の状況

### ・経費回収率は46事業中、43事業で100%未満

経費回収率が100%以上の事業は、公共下水道事業3事業（日田市、臼杵市、豊後高田市）のみとなり、汚水処理に係る費用を使用料収入で賄いきれていない事業が43事業（93.5%）となっている。経費回収率が100%を下回った事業においては、使用料や投資効率などの水準について、安定的な事業経営が行える水準に見直すなど、経営のあり方を検証することが特に求められる。

表 3-4 経費回収率

団体名	公共下水道			特定環境保全公共下水道			農業集落排水			漁業集落排水			小規模集合排水			特定地域生活排水			
	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	
大分市	99.9	98.8	1.1	—	—	—	33.4	35.1	▲1.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
別府市	84.2	84.7	▲0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
中津市	98.4	94.4	3.9	77.6	75.9	1.7	59.7	50.4	9.3	—	—	—	92.5	102.0	▲9.5	—	—	—	
日田市	100.6	100.3	0.3	52.3	65.7	▲13.4	52.7	48.5	4.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
佐伯市	99.6	97.6	2.0	54.7	55.0	▲0.3	63.8	64.7	▲0.9	33.7	38.2	▲4.4	18.6	29.6	▲11.1	77.0	80.8	▲3.8	
臼杵市	106.3	107.6	▲1.2	69.0	56.7	12.2	44.9	31.5	13.4	36.5	35.8	0.7	—	—	—	84.7	85.9	▲1.2	
津久見市	94.2	83.3	10.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
竹田市	—	—	—	—	—	—	49.4	46.0	3.5	—	—	—	—	—	—	—	92.0	90.7	1.3
豊後高田市	101.5	100.3	1.2	57.0	57.8	▲0.7	55.0	52.7	2.3	14.3	11.0	3.3	—	—	—	—	—	—	
杵築市	91.3	91.3	0.0	97.5	100.0	▲2.5	25.6	45.8	▲20.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
宇佐市	99.7	104.6	▲4.9	65.3	76.6	▲11.3	58.5	61.1	▲2.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
豊後大野市	—	—	—	77.0	71.0	6.1	54.9	62.4	▲7.4	—	—	—	—	—	—	49.0	62.3	▲13.3	
由布市	—	—	—	—	—	—	55.7	58.4	▲2.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
国東市	97.7	97.4	0.3	78.3	81.0	▲2.7	11.8	40.8	▲29.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
姫島村	—	—	—	51.8	54.4	▲2.6	—	—	—	38.8	45.8	▲7.0	—	—	—	—	—	—	
日出町	98.5	97.1	1.5	—	—	—	63.7	62.9	0.8	58.4	55.4	3.0	—	—	—	—	—	—	
合計	97.8	96.8	0.9	71.2	71.4	▲0.2	51.5	53.0	▲1.5	36.4	39.4	▲3.0	36.6	55.6	▲19.0	80.2	82.0	▲1.8	

(注)1 経費回収率は、下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)×100とする。 3 「合計」欄は加重平均である。  
2 公共下水道事業は、法適用団体と法非適用団体があるため、[合計]欄は[平均]と読み替えるものとする。 4 九重町と玖珠町は下水道事業を実施していないため、表示していない。

### ・経常収支比率は22事業（47.8%）で100%未満

経常収支比率が100%以上の事業は、前年度から6事業増加し、28事業（60.9%）となった。100%未満となった18事業（39.1%）では、経常費用を経常収入だけでは賄いきれていない状況にある。

表 3-5 経常収支比率(法適用)と収益的収支比率(法非適用)

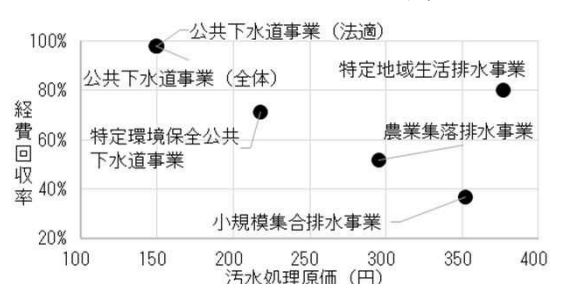
団体名	公共下水道			特定環境保全公共下水道			農業集落排水			漁業集落排水			小規模集合排水			特定地域生活排水		
	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減
大分市	100.0	100.0	▲0.0	—	—	—	99.9	100.0	▲0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
別府市	89.4	90.4	▲0.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中津市	101.9	107.1	▲5.2	107.3	100.9	6.4	83.8	72.5	11.3	—	—	—	70.4	89.7	▲19.3	—	—	—
日田市	100.5	100.2	0.2	101.6	101.5	0.1	100.8	100.7	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
佐伯市	100.0	100.0	▲0.0	100.0	100.0	0.0	91.6	92.2	▲0.6	99.7	99.1	0.7	100.0	100.0	0.0	100.0	99.9	0.1
臼杵市	100.6	104.6	▲4.0	102.1	95.6	6.5	94.8	83.1	11.7	100.8	115.6	▲14.8	—	—	—	103.2	100.9	2.3
津久見市	96.8	88.8	8.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
竹田市	—	—	—	—	—	—	94.4	87.2	7.3	—	—	—	—	—	—	104.6	105.8	▲1.2
豊後高田市	99.5	100.6	▲1.1	100.5	98.3	2.2	101.1	99.7	1.5	104.4	99.7	4.7	—	—	—	—	—	—
杵築市	100.0	101.6	▲1.5	100.0	100.9	▲0.8	99.3	96.5	2.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宇佐市	97.2	100.4	▲3.3	92.0	95.5	▲3.6	89.7	91.0	▲1.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
豊後大野市	—	—	—	115.8	112.0	3.7	87.9	97.3	▲9.4	—	—	—	—	—	—	93.3	94.7	▲1.5
由布市	—	—	—	—	—	—	73.5	74.8	▲1.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国東市	100.1	100.0	0.1	100.0	99.8	0.2	67.5	100.9	▲33.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
姫島村	—	—	—	112.3	100.1	12.2	—	—	—	100.5	100.3	0.3	—	—	—	—	—	—
日出町	103.8	100.9	2.9	—	—	—	102.7	86.7	16.0	103.5	83.1	20.3	—	—	—	—	—	—
合計	99.1	99.7	▲0.5	101.6	99.9	1.7	91.5	89.8	1.8	100.5	97.8	2.7	94.6	97.8	▲3.1	101.7	102.2	▲0.5

(注)1 法適用企業は経常収支比率、法非適用企業は収益的収支比率を示す。 3 「合計」欄は加重平均である。  
2 公共下水道事業は、法適用団体と法非適用団体があるため、[合計]欄は[平均]と読み替えるものとする。 4 九重町と玖珠町は下水道事業を実施していないため、表示していない。

### ・汚水処理原価が高いほど、経費回収率は低下

汚水処理に係るコストである汚水処理原価が高くなれば、経費回収率が低くなり、経営の効率性を低下させる要因となる。改善に向けては、維持管理経費の削減だけでなく、使用料の水準や人口減少を見据えた事業規模のあり方、さらには事業間や市町村間での連携など、効率的な取組が求められる。

グラフ 3-1 汚水処理原価と経費回収率



# 4 病院・その他事業の経営状況

## ◆収支の状況

### ・病院事業全体では15億7,700万円の黒字

病院事業全体の収支額は、15億7,700万円の黒字となったが、事業別では、3事業で昨年度を下回る収支を計上した。収支額から基準外繰入金を控除した収支状況でも、事業全体、事業別ともに黒字を計上している。

収支額減少の主な要因は、新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況の変化があげられる。入院・外来患者が増え医業収益が増加したものの、新型コロナウイルス感染症に対応するための空床確保数に対する国庫補助金の減少、手術件数の増加による医業費用の増加などにより、減益となった。

表 4-1 収支額の状況

(単位：百万円)

団体名	病 院			そ の 他		
	R 4	R 3	増減	R 4	R 3	増減
大 分 市	—	—	—	283	292	▲9
別 府 市	—	—	—	0	0	0
中 津 市	72	24	48	1	2	0
日 田 市	—	—	—	0	0	0
佐 伯 市	—	—	—	3	3	0
臼 杵 市	—	—	—	0	0	0
津 久 見 市	—	—	—	0	0	0
竹 田 市	—	—	—	0	0	0
豊 後 高 田 市	—	—	—	—	—	—
杵 築 市	236	338	▲102	9	9	1
宇 佐 市	—	—	—	0	0	0
豊 後 大 野 市	650	679	▲29	43	36	6
由 布 市	—	—	—	—	—	—
国 東 市	620	969	▲349	8	11	▲3
姫 島 村	—	—	—	3	2	1
日 出 町	—	—	—	—	—	—
九 重 町	—	—	—	—	—	—
玖 珠 町	—	—	—	—	—	—
合 計	1,577	2,009	▲432	350	355	▲5

表 4-2 収支額から基準外繰入金(収益的収支分)を控除した収支状況

(単位：百万円)

団体名	病 院			そ の 他		
	R 4	R 3	増減	R 4	R 3	増減
大 分 市	—	—	—	283	292	▲9
別 府 市	—	—	—	0	0	0
中 津 市	72	24	48	▲47	▲47	0
日 田 市	—	—	—	0	0	0
佐 伯 市	—	—	—	▲37	▲9	▲28
臼 杵 市	—	—	—	0	0	0
津 久 見 市	—	—	—	0	0	0
竹 田 市	—	—	—	▲10	▲17	7
豊 後 高 田 市	—	—	—	—	—	—
杵 築 市	232	335	▲103	0	0	0
宇 佐 市	—	—	—	0	▲19	19
豊 後 大 野 市	650	679	▲29	43	36	6
由 布 市	—	—	—	—	—	—
国 東 市	620	966	▲347	7	11	▲3
姫 島 村	—	—	—	▲100	▲109	9
日 出 町	—	—	—	—	—	—
九 重 町	—	—	—	—	—	—
玖 珠 町	—	—	—	—	—	—
合 計	1,573	2,003	▲430	139	139	0

※表示単位未満四捨五入のため、表内で一致しない場合がある。

- (注) 1 法適用企業にあっては純損益、法非適用企業にあっては実質収支の金額を示す。(表4-1)  
 2 その他は、工業用水道、交通、駐車場、観光、市場、電気、介護サービス、その他事業を示す。  
 3 一般会計からの基準外繰入金を表4-1の収支額から差し引いた収支額を示す。(表4-2)

## ◆未処理欠損金の状況

### ・国東市民病院において9億1,900万円の未処理欠損金を計上

杵築市立山香病院は未処理欠損金を解消

表 4-3 当年度未処理欠損金の状況

(単位：百万円)

事業名	団体名	R 4	R 3	増減
病 院	杵 築 市	0	▲173	▲173
	国 東 市	▲919	▲1,569	649
合 計		▲919	▲1,742	476

※表示単位未満四捨五入のため、表内で一致しない場合がある。



# 5 一般会計繰入金

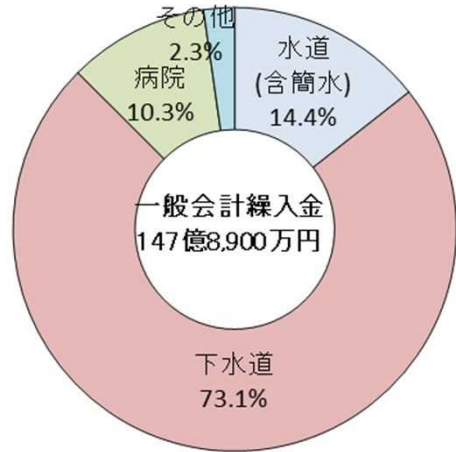
## ◆一般会計繰入金の状況

- ・一般会計繰入金は147億8,900万円で、前年度から8億1,200万円増加

一般会計繰入金の全体額は各事業で増加し、下水道事業で5億5,900万円、病院事業で8,400万円、その他事業で8,100万円、水道事業で8,000万円の増となった。事業別の構成は、下水道事業が108億1,100万円で全体の73.1%を占めており、次いで水道事業が21億2,600万円（14.4%）、病院事業が15億1,800万円（10.3%）、その他が3億3,400万円（2.3%）となった。

一般会計繰入金とは、公営企業会計に一般会計から繰り入れた額のことをいう。

グラフ 5-1 令和4年度事業別一般会計繰入金の状況



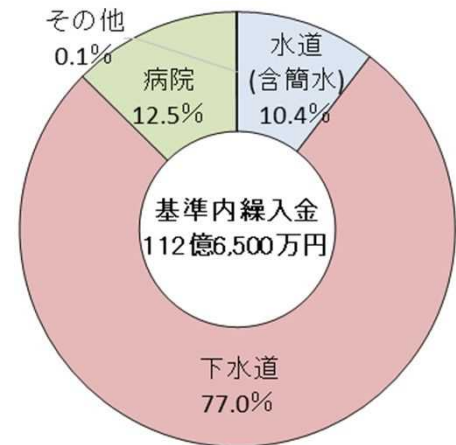
## ◇うち基準内繰入金の状況

- ・基準内繰入金は112億6,500万円で、前年度から4億4,300万円増加

一般会計繰入金のうち基準内繰入金では、下水道事業で3億2,800万円、病院事業で7,600万円、水道事業で3,700万円、その他事業で300万円増加した。事業別の構成は、下水道事業が86億7,400万円で全体の77.0%を占めており、次いで病院事業が14億1,000万円（12.5%）、水道事業が11億7,200万円（10.4%）などとなった。

一般会計からの繰入金のうち、本来、一般会計が負担すべき、あるいは負担することが適当な経費等として、毎年総務省が通知により定めている基準に基づく繰入金を基準内繰入金という。

グラフ 5-2 令和4年度事業別基準内繰入金の状況



## ◇うち基準外繰入金の状況

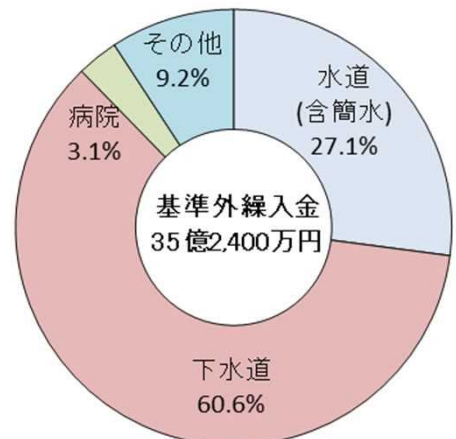
- ・基準外繰入金は35億2,400万円で、前年度から3億6,900万円増加

一般会計繰入金のうち基準外繰入金では、水道事業で5億1,000万円、下水道事業で2億3,100万円、その他事業で7,800万円、病院事業で800万円、の増となった。

事業別の構成は、下水道事業が21億3,700万円で全体の60.6%を占め、次いで水道事業が9億5,400万円（27.1%）、その他が3億2,500万円（9.2%）、病院事業が1億800万円（3.1%）となった。

一般会計繰入金のうち、基準内繰入金以外の総務省の基準に基づかない繰入金を基準外繰入金という。

グラフ 5-3 令和4年度事業別基準外繰入金の状況



# 6 企業債現在高

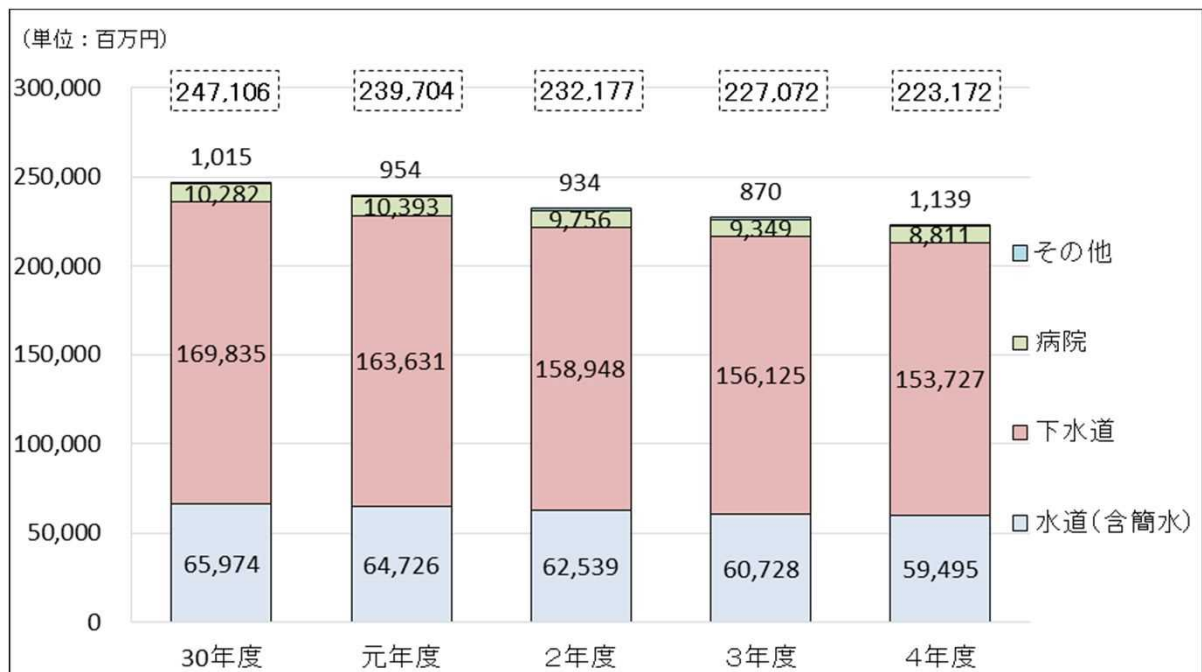
## ◆企業債現在高の状況

### ・企業債現在高は、18年連続で減少

企業債現在高は2,231億7,200万円で、前年度から39億円の減となり、18年連続で減少した。これは、企業債の新規発行はあるものの、過去に発行した企業債の償還が終了したことにより、下水道事業で23億9,800万円、水道事業で12億3,300万円減少したことが主な要因である。

今後は、老朽化の進行に伴う施設や管渠等の更新、長寿命化対策、防災・減災対策としての管渠の耐震化など、計画的に整備を進めつつ、将来的に企業債現在高が増嵩しないよう留意する必要がある。

グラフ 6-1 企業債現在高の推移



グラフ 6-1 企業債現在高の状況

団体名	水道(含簡易水道)			下水道			病院			その他			合計		
	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減	R4	R3	増減
大分市	20,083	20,598	▲515	77,989	78,414	▲425	—	—	—	340	381	▲41	98,412	99,393	▲980
別府市	3,013	3,167	▲154	9,236	9,117	119	—	—	—	0	0	0	12,249	12,284	▲35
中津市	6,169	5,428	741	14,095	13,981	114	3,373	3,440	▲67	167	75	92	23,804	22,925	879
日田市	4,117	4,435	▲319	10,236	10,695	▲459	—	—	—	0	0	0	14,353	15,131	▲778
佐伯市	5,682	5,818	▲136	9,012	9,441	▲429	—	—	—	39	33	6	14,734	15,293	▲559
臼杵市	3,366	3,466	▲100	6,330	6,522	▲192	—	—	—	0	0	0	9,696	9,988	▲292
津久見市	599	653	▲54	2,489	2,594	▲106	—	—	—	0	0	0	3,088	3,248	▲160
竹田市	554	656	▲102	586	605	▲19	—	—	—	0	0	0	1,140	1,261	▲121
豊後高田市	855	886	▲31	3,722	3,929	▲207	—	—	—	—	—	—	4,577	4,815	▲237
杵築市	1,536	1,592	▲56	5,405	5,761	▲356	799	850	▲51	67	82	▲15	7,807	8,285	▲478
宇佐市	4,177	4,256	▲79	8,271	8,084	186	—	—	—	8	27	▲19	12,456	12,368	89
豊後大野市	2,950	3,101	▲151	756	834	▲78	1,950	2,046	▲96	0	0	0	5,656	5,981	▲325
由布市	3,532	3,674	▲142	195	243	▲47	—	—	—	—	—	—	3,727	3,917	▲190
国東市	1,223	1,272	▲48	2,645	3,006	▲361	2,690	3,013	▲323	9	15	▲5	6,567	7,305	▲737
姫島村	80	93	▲13	176	197	▲21	—	—	—	508	257	251	764	546	218
日出町	855	839	15	2,583	2,702	▲119	—	—	—	—	—	—	3,437	3,541	▲104
九重町	438	483	▲45	—	—	—	—	—	—	—	—	—	438	483	▲45
玖珠町	265	311	▲46	—	—	—	—	—	—	—	—	—	265	311	▲46
合計	59,495	60,728	▲1,233	153,727	156,125	▲2,398	8,811	9,349	▲538	1,139	870	268	223,171	227,072	▲3,900

※表示単位未満四捨五入のため、表内で一致しない場合がある(グラフについても同様)。  
 (注)その他は、工業用水道、交通、駐車場、観光、市場、電気、介護サービス、その他事業を示す。

## 7 まとめ

- 水道事業は、市町村合併を契機に旧市町村単位で実施していた上水道及び簡易水道事業の各事業の経営統合が進んだが、給水区域の地理的条件等から施設統合が困難なため、ソフト統合によるものが大多数である。上水道事業は、比較的経営が安定しているが、水道料金の設定が低く料金回収率が低い事業も多い。また、簡易水道事業は、規模や地理的条件などから効率性が低く、経営環境が一層厳しいため、一般会計からの繰入金に依存している状態にある。

人口減少や施設の老朽化に対応しながら、水道事業の持続的な経営を確保するため、県では令和4年度に水道広域化推進プランを策定したところであり、中長期的な経営計画を定めた経営戦略の実行や、長期的な方向性を明示した水道ビジョンの実現を見据えながら、施設・設備の効率的な維持や更新、料金水準の検証や見直しを踏まえた経営基盤の強化が必要である。

- 下水道事業は、一般会計繰入金への依存が常態化しており、基準外繰入金を控除すると43事業（93.5%）で赤字を計上している。また、下水道事業における各事業は、地域の実情や整備時期によって効率的かつ適正な汚水処理施設を選定・整備してきたが、経営の効率性では事業によって格差が生じている。

経営戦略に基づく計画的な整備や運営管理の効率化、地方公営企業法の適用による資産やコスト管理の徹底、事業間での連携や市町村間での広域連携による取組を推進するなど、経営基盤の強化に向けた取組が必要である。

- 病院事業は、新型コロナウイルス感染症への対応が3年目になる中、各病院において病床や人員の確保による体制強化等に努め地域医療の継続に尽力した。

入院・外来患者が増加し、医業収益が回復したものの、新型コロナウイルス感染症への対応に係る補助金の減少や医業費用の増加により、収支額は昨年度より減少したが、3年連続で黒字となり、杵築市では未処理欠損金を解消した。

限られた医師・看護師等の医療資源の最大限効率的な活用や、効率的な病床管理体制の構築等により、引き続き、経営を強化し、持続可能な地域医療提供体制を確保していくことが必要である。

地方公営企業は、独立採算制の原則のもとで、住民生活や地域の発展に非常に重要なサービスを提供するなど、公共的役割を担っている。一方で、人口減少等に伴うサービス需要の減少、老朽化や自然災害への対応として施設等の更新や耐震化需要が増大するなど、収益減少と経費増加が懸念されており、各事業を取り巻く経営環境は、厳しさを増している。

そのため、各事業者においては、資産ストック情報やコストの適正管理、将来的な供給と需要の変化や料金水準等の状態を把握・検証し、さらには、一般会計による負担のあり方を踏まえ、中長期的な視点に立った持続可能な事業運営に向けた抜本的な対策が求められている。

## 8 用語の説明

### ○公営企業

公営企業とは、独立採算制の原則のもとに自立的な一個の経営体として、地域住民の福祉の増進を目的に運営される企業のこと。

したがって、公営企業の運営に係る経費は、その性質上当該公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費及び効率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費を除き、当該企業の経営に伴う収入をもってこれに充てなければならないとされている。

### ○法適用企業

法適用企業とは、地方公営企業法の適用を受ける企業のこと、経営組織としては、原則として、企業の管理者を置き、当該管理者は、企業職員の任免・分課の設置・企業管理規定の制定等日常の業務を執行する権限と責任を有している。

また、財務面では、一般会計における現金主義に対し、発生主義に基づく企業会計方式を採用し、経営成績及び財政状況を明らかにすることとされ、独立採算が求められている。

### ○法非適用企業

法非適用企業とは、地方公営企業法の適用を受けない企業のこと、組織・職員の身分・会計方式等については一般会計と同じ考え方であるが、公営企業であるため独立採算が求められる。

### ○当年度未処理欠損金

前年度繰越欠損金に当年度の純利益または純損失を加減した額を表す。

### ○料金回収率（供給単価／給水原価×100）

水道事業に用いる指標で、給水に係る費用をどの程度給水収益で賄えているかを表す。

### ○給水原価

水道事業に用いる指標で、有収水量1m<sup>3</sup>あたりについて、どれだけの費用がかかっているかを表す。

### ○経費回収率（下水道使用料／汚水処理費（公費負担分を除く）×100）

下水道事業に用いる指標で、汚水処理費をどの程度使用料で賄えているかを表す。

### ○経常収支比率（経常収益／経常費用×100）

法適用企業に用いる指標で、当該年度において、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等をどの程度賄えているかを表す。比率が高いほど良い経営状況とされる。

### ○収益的収支比率（総収益／（総費用+地方債償還金）×100）

法非適用企業に用いる指標で、使用料収入や一般会計からの繰入金等の総収益で、総費用に地方債償還金を加えた額をどの程度賄えているかを表す。比率が高いほど良い経営状況とされる。

### ○汚水処理原価

下水道事業に用いる指標で、有収水量1m<sup>3</sup>あたりの汚水処理に要した費用であり、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表す。

### ○経営戦略

経営戦略とは、各公営企業が、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画のこと。